

件名：【令和3年度世田谷プラットフォーム高等教育グランドデザインに
関する協議会】実施報告

世田谷プラットフォームでは、中央教育審議会が取りまとめた「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」について、世田谷区域における長期的な高等教育の展望、教育の質の保証、各高等教育機関の役割や、18歳人口の減少等を踏まえた地域の高等教育の将来像を検討しています。

令和3年10月21日に開催した「第2回世田谷プラットフォーム協議会」において「令和3年度世田谷プラットフォーム高等教育グランドデザインに関する協議会」を開催し、世田谷プラットフォーム参画団体（世田谷区、区内産業界団体、参画大学）で意見交換を行いました。

協議会では、現在、リカレント教育の推進を目的に世田谷プラットフォーム事業として開講している、社会人のキャリア形成のためのプログラム「ビジネスキャリアデザイン講座Ⅰ」の実施状況と今後の展望、そして初等中等教育との接続等について議論しました。

（主な意見）

- ・これからは多様な方々を大学に招き入れていく、ということが大きなテーマであり、そのためにもまず各大学で力を合わせて「学び」の必要性を発信していくことが重要である。
- ・今後も、より各大学の特色を活かした講座を開講し、社会人の方々に、学びの場として「大学」という存在を再認識してもらうことが大事なことだと考える。
- ・学生、社会人の就業におけるミスマッチを防ぐことを目的とした講義、講座がのぞまれる。
- ・18歳人口の減少が進むなか、高等教育の前段階である初等中等教育および就学前の子どもへの教育について、大学として取り組めることもあろうと思われる。高大接続の観点から「キャリアデザイン」や「探究的な教育」といった取組みを初等中等教育段階から進めていく必要がある。 など

世田谷プラットフォームでは、今後も地域における高等教育の活性化並びに区内産業界、更には世田谷区全体の発展に寄与することを目的として、高等教育グランドデザインについて協議していきます。

■令和3年度世田谷プラットフォーム高等教育グランドデザインに関する協議会
(令和3年度「第2回世田谷プラットフォーム協議会」内)

日 程：2021（令和3）年 10 月 21 日（金）

時 間：14 時 00 分 ～ （オンライン形式）

参 加 者：

1. 区 内 大 学 ： 国士舘大学、駒澤大学、昭和女子大学、
成城大学、東京農業大学、東京都市大学
2. 自 治 体 ： 世田谷区
3. 区内産業界 ： 東急株式会社、世田谷信用金庫

以上